



近藤卓教授による「健康科学概論」授業

今回は、本学の学部・学科についてご紹介いたします。
本学のスポーツプロモーション学部・スポーツプロモーション学科は、日本で唯一本学のみが設置している学部・学科です。

スポーツプロモーションとは、スポーツの普及・促進・発展を意味する言葉です。これからのスポーツは、スポーツと人々とが直接かかわる実感や受けとめ方を大切にし、その中でその意味や価値を明らかにしながら、必要な考え方や思想を促進し、発展させていくこと、すなわちプロモーションという概念が重要になります。
スポーツの発展にとって、コーチ型指導者もマネジャー型指導者も必要であることは間違いありませんが、それで十分ではありません。
ライフスタイルの多様化を背景にして、新しいスポーツ享受のビジョンに向けたスポーツプロモーションのためには、これまででの学校などでの運動部を対象とする画一的な体育モデルのスポーツ指導や、スポーツ集団・組織に焦点を当てるスポーツマネジメントを超えて、これからのスポーツプロモーションの専門的な担い手として、スポーツにかかわる諸条件・環境とを最適に連携し、企画・立案・実践を行う「スポーツコーディネーター」の養成に期待が集まります。

WELLNESS

日本ウェルネススポーツ大学
通信

キャンパス Campus!



秋季関東大学リーグ全勝優勝で4部に昇格した女子バレーボール部



2012年に、旧利根中学校跡に開校した日本ウェルネススポーツ大学からの情報をお届けしています!

学校法人タイケン学園

日本ウェルネススポーツ大学

1号館 利根町布川 1377
2・3・4号館 利根町布川 1649
TEL 0297-68-6787 FAX 0297-68-6788

新着図書情報!

図書館からのおススメ!

「極夜行」

角幡唯介 [著] 文藝春秋

暗闇のなか、氷床を歩き続け3カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか。太陽が昇らない冬の北極を命がけで体感した探検家が見つめるノンフィクション作品。

第1回ノンフィクション本大賞を受賞した作品。



「傍らにいた人」

堀江敏幸 [著] 日本経済新聞社

「ゆりかごにそっと」

蓮田太二 [著] 方丈社

子ども向け『本の福袋』貸し出します!

今年も「本の福袋」の貸し出しを行います。どんな本が入っているかは、開けてからのお楽しみ!

- 対象者：幼児および小学生
- 数量：限定30パック (なくなり次第終了です。)
- 貸し出し期間：平成31年1月5日(土)～

映画会のお知らせ

「雨に唄えば」 (102分) (1952年アメリカ)

監督 ジーン・ケリー スタンリー・ドーネン 主演 ジーン・ケリー
ジーン・ケリーがどしゃ降りの雨の中で主題歌を歌いながらタップダンスを踊るシーンがあまりにも有名なミュージカルの大傑作。

- 日時：12月22日(土) 午後1時～
- 場所：利根町図書館 2階多目的ホール
- 入場料：無料

図書館

だ よ り



利根町図書館 ☎68-8868
開館時間/午前9時30分～午後5時
休館日/毎週月曜日、祝日、年末年始、
月末資料整理日、特別整理期間
HP / http://tone-lib.jp

平成31年1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

は休館日

とねまち 歴史探訪

一茶が訪れたところ

布川地区にある「すこやか交流センター・コミュニケーションセンター」の正門前に、写真の小林一茶の句があるのをご存知でしょうか?これは、「やれ打つな蠅が手をする足をする」などの親しみやすい俳句をたくさん残した俳人・小林一茶が、かつて訪れたところなのです。

こちらが今回紹介する、布川・馬場地区(上坪)で昔からお守りしている弁財天参道の入り口ともなっています。一茶が訪れた当時には、弁財天はここには無かったようです。実はこの地に弁財天がまつられるまでには、時勢を反映したドラマがありました。

まずは、この辺りがどのような所であったか、一茶の俳句日記『文化句帖』文化三年(一八〇六年)十月二七日の項を見てみましょう。大意を紹介すると、

布川の里、来見寺のかたわらの田の中に小さな塚があり、菰四、五枚敷いて酒を搾る翁と味噌をするわらべがいた。不思議に思つて木の間隠れに覗いて見ると、初孫が生まれたと笑う声が出て、大変心根の優しいそうなる若い女性が麻で髪を整い、なでしこの花が雨に濡れたような憂いを含んだ姿が見えた。

このような姿には見えず、まさに妖

第十七回 布川 馬場地区の弁財天物語 (その1)

怪のたぐいか、狐か狸の人をだます姿かと思われ、近くの人に聞いてみると、それはこのあたりの門に立って一文半銭の憐れみを乞うて世を過ぐす貧しい一家との事。しかし、その楽しそうな、幸せそうな様子は、富豪の家族のそれと全く変わりがない。(中略)今宵は嫡子の初七夜を祝って、身内の者が集まって子孫の長久を祈る楽しい宴が始まるであろう。

「赤子からうけならはすや夜の露」 (赤ん坊のような時から、夜露が落ちてくる粗末な小屋で育てられると、世の中で、つらいと思うことも無くなるのではなからうか。)

このように一茶が句を詠んだのは、ここであろうと考えられますが、田の中の小さな塚とあるだけで弁財天とは書いていません。それでは弁財天はどこにあったのでしょうか? ※この稿は宮本楽遊会「歴史探訪講座」で取り上げた内容を一部訂正、加筆したものです。



▲正門前的小林一茶の句

利根町地域おこし協力隊 活動レポート

利根町の宝みつけた!!



シクラメン栽培の宮本幸さんも来場してくださいました

11月3日に開催された「第34回利根町地場産業フェスティバル」私たちが地域おこし協力隊も会場内に特設ブースを設置して、日ごろの活動を通して知った利根町の「もの・ひと・こと」などについて紹介させていただきました。

利根町のひと紹介

当日、私は「利根町のひと紹介」と題して、シクラメン栽培をしている杉山利一さん、フリージア栽培をしている宮本幸さん、ほうれん草栽培をしている石塚梢さんの3名をパネルで紹介させていただきました。

来場された方からは、「こんな人が利根町にいるの知らなかった」「若い人たちが頑張っているのは嬉しい。応援したい」「こうやって紹介してくれると、町のことを知ることができていいね」など、嬉しい感想をいただくことができました。

また、峯山隊員が行った、利根町発祥のニュースポーツ「UFOフリーボール体験会」では、約40名の方々にご参加いただきました。簡単そうで意外と難しいこのUFOフリーボール、なかなか的に当たらず「もっとやりたい!」と夢中になるお子さまもいました。

小さいけど魅力溢れるまち、利根町。これからも私たちが見つけた利根町のステキなひと、面白いもの、楽しいことをお伝えしていきます♪

利根町地域おこし協力隊 報告会のご案内

日時 12月20日(木) 19:00～20:00
場所 役場1階 多目的ホール

内容 私たち地域おこし協力隊が着任して、見つけた知った利根町の魅力をご紹介します。また、皆さまが考える町の魅力を私たちに教えてください。一緒に利根町について語り合いたいです!